

1 本園の教育理念・教育方針

教育理念：【知性の源を育む】 知性：感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・諦めない心等
 教育方針：① 宗教教育：神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく【感謝の心】
 ② モンテッソーリ教育：幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる
 【自己肯定・考える力・諦めない心】
 ③ 平和教育：集団生活の出会いと関わりを通して神さまと周りの人を大切にする【共感力】

2 本年度 年間目標（テーマ）

ぼくも わたしも あなたもいいね！ 新しい自分を見つけよう！ いっぱいチャレンジ！！

3 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ・園生活のすべてをモンテッソーリ活動の『お仕事』と捉え、登園から降園までのすべての活動において、個々の子どもの主体性・自由性に基づいたものとし教師はそれを認め必要最小限の援助を行うようにする。
- ・家庭との連携を丁寧に行い、保護者の安心感を得ることで信頼関係を構築し、お互いの共通意識を深めながら、協力して子ども達の成長を見守っていく。
- ・未就園児クラスの子ども達と園児の交流、教師間の共通理解に努め、子ども達と保護者が安心して入園を迎えることができるように準備する。

4 評価項目の達成および取り組み状況

宗教教育	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が生活の中で自然に宗教的な体験ができるよう、祈りや聖歌、絵本『こどものせかい』のメッセージ等を通して、わかりやすく伝えていくようにした。 ・園生活の関わりの中で、子ども達がお互いの違いを受け入れ認め合い、祈り合う経験をしている。教師間でも同様に日々祈り合い、支え合うことができた。 ・クリスマスお祝い会の体験を通し、神様の御業や聖書の出来事について知ることで、命の大切さや有難さ、命あるすべてのものの存在の意味を実感できるようになった。
モンテッソーリ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育が最も大事にしている人間教育について理解を深めるため、園内外の研修を重ね、教師自身が教具に親しみ、楽しんで提供できるよう心がけた。 ・子ども達が『お仕事』を通して、自立し正常化していく様子を丁寧に、観察した。 ・園児一人ひとりの成長や内的欲求・興味関心に沿った環境準備を工夫し心がけた。
平和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子ども達が、クラスや学年活動において自分の役割や居場所を見つけ、安心して過ごせるよう配慮し、自己肯定感や共感の気持ちを持てるよう見守った。 ・自然災害等により困っている人達のことを知らせ、一緒に考えていくことにより、子ども達が自ら、自分達にできる援助や祈り、献金等を実践している。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の集い、保育参観や個人懇談等で保護者と話す機会を大事にし、幼稚園の理念や方針、保育の現状を伝える事により共通理解と情報共有に努めるようにした。 ・年間行事を通して、子ども達の成長を共に見守るとともに、保護者の喜びや心配事などを気軽に話せる雰囲気作りを心がけ、共有できるように努めた。 ・保護者からの相談等には、いつでも対応できることを知らせ、実践してきた。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に防災の大切さを知らせるとともに、定期的に防災訓練（火事・地震・津波）を実施することができた。 ・子どもの日々の健康状態を把握し、適切な対応・連絡・報告・経過打診を行った。 ・日常の遊具、用具等の点検や安全な環境設定を行った。

子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 園にかかわるすべての保護者の思いや意見等に寄り添いながら、必要な提案や助言等を心がけた。 未就園児クラスよりも良い充実に向けて、環境の見直しや人的配置等に努めた。
学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達について具体的な情報交換ができるように、幼小連絡会、療育面談等には積極的に参加した。 周辺地域の方々に対しては、登降園時、集会時等の車道の混雑や日々の通行においてご迷惑をおかけしているため、折に触れお詫びと感謝を伝えるように努めている。

5 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- 園の教育理念・教育目標、日々の保育の様子等を少人数ごとの保護者入園説明会やオープンスクールなどの機会に、園児達の姿を見ながら、一人ひとりに丁寧に伝えるよう心がけ、実施することができた。
- 日々の職員朝礼や終礼、会議、研修等の中で、教育理念や教育目標についての確認の機会を意識することにより、未就園児担当教員を含む全体の職員間のコミュニケーション、共通理解、意思疎通が大変スムーズになった。

今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 宗教教育、モンテッソーリ教育、平和教育の3本柱について、園に関わるすべての教員(正職・非常勤勤務含む)が理解し、保護者への説明、実践報告等を丁寧に行うとともに、具体的な実践や研修等を通して質の向上を目指す。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて子育て相談やカウンセリングの場を設け、保護者の思いやニーズを受け入れ、共に考えていく機会を増やしていく。 ホームページやInstagram、支援センター等のお知らせを利用し、未就園児の保護者対象に一般に広く呼びかけ、園見学や園庭開放、イベント等を実施していく。
卒園後の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 卒園後もホームページやおりこうニュース、Instagram等を通して、幼稚園の情報を知らせる機会を設ける。 卒園後もモンテッソーリ活動や季節行事に参加できる機会を提供する。

7 学校関係者の評価 保育内容評価について学校関係評価委員12名の意見を集約

- 幼稚園に登園することを楽しみにし、園生活の中でモンテッソーリのお仕事や宗教体験を通して、喜び成長する姿が見られた。また心の豊かな成長につながっていると感じている。
- 家庭の中で、幼稚園で歌っている聖歌やクリスマスの歌等を口ずさんでいるのを聞いて、微笑ましく心が温かくなり嬉しいと感じる。
- 子どもから、担任はもちろん、園内の先生方の名前が次々と出てくるのを聞いて、たくさんの先生方と関わり、見守られて生活していることが伺え、安心し感謝している。
- どんな時でも子どもの安全、安心感、気持ちを最優先した保育運営をしていることが伝わってくる。そのため、常に安心して子どもを園に預けることができ、感謝している。
- 子どもに無理強いをせず、興味を持つタイミングを待ってもらったことで、自然にいろいろな活動が自分の力でできるようになった。
- 園の理念や方針、大切にしている事等について、保護者の集いや懇談会等で、園長はじめ担任の先生からわかりやすく、丁寧に伝えられてきたので、安心して通わせることができた。
- 先生方が、一人ひとりの子どもをよく見て、理解して、適切に関わっていただいている、有難く思う。

8 財務状況

- 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。